

「学ぶことが楽しい学校」実現のための取り組み内容と具体的方策

目 標		具 体 的 方 策
支え合う仲間づくり	授業づくりは仲間づくり	① 子どもたち一人ひとりが自尊感情を持てるような授業づくりを進めます。 ② 子どもたちの困り感に寄り添う授業づくりにこだわります。 ③ 子どもたちみんなが「できる」を諦めない授業づくりを進めます。 ④ お弁当給食や児童大集会などを通して、縦の子どもたちのつながりを作っていきます。
	居心地のよい学校・学年・学級づくり	① 自分からあいさつができる力を付け、互いを大切に感じられる学校づくりを進めます。 ② 学年の取組を大切にして、学年集団で高まろうとする学年づくりを進めます。(学年経営案作成) ③ 授業や友だちとの関係の中から出てくることを自分事として考えられる学級づくりを進めます。 ④ いじめの早期発見に努めるため、いじめアンケートを各学期に実施し、教育相談月間を設け、組織的に解決を図ります。また、Q U 検査の結果を分析し仲間づくりに活かします。 ⑤ 学校だより、学年・学級だより、ホームページを通して、情報発信を行い、進捗状況を保護者・地域の方に伝えていきます。
聴き合い語り合う授業	聴き合い、語り合う授業の展開	① ペア学習や班学習を授業で取り入れながら、聴き合う関係づくりに努め、自分の考えを返し、行動できる子を育み、「教え合う」とことと「語り合う」とことの違いを明らかにしていきます。 ② 四日市モデル(5つのプロセス)を授業づくりに取り入れ、主体的・対話的で深い学びを探究していきます。 ③ 教職員が相互に授業を見合い、それぞれの経験や考え方に学び合い、授業力を高めていきます。年1回以上の公開授業を全教職員が行います。
	確かな学力の育成	① 「聴き合い語り合う授業づくり」が、子どもたち一人ひとりの確かな学力に繋がっているかを明らかにする校内研修を進めます。 ② 本校のビジョンに掲げる課題に関連した各種研修会や先進校視察を通じて、授業改善を進めます。
学習・生活の支援体制づくり	特別支援教育の推進	① 実際に子どもの様子を観て、その子の困り感を全教職員で共有し、その子に付けたい力と周りの子に付けたい力を考える校内特別支援委員会にしていく。 ② 校内特別支援委員会で検討された支援・手立てを、全職員で実行していく。 ③ 支援を必要とする児童の個別学習の目的と付けたい力を明確にしていく。
	学習環境の整備	① NRTや学力・学習状況調査、みえスタディチェックの結果を分析し、授業づくりに活かします。 ② 朝の学習を国語・算数を中心に進め、学習に対し自信が持てる内容にしていきます。 ③ 図書室の本の整備を進め、読書につながるあらゆる活動の充実を図り、自主的な読書習慣と結び付け、読書好きな子を育てます。 ④ 家庭学習の定着を家庭と協力して進め、内容の充実にも努めます。 ⑤ 保幼小中が連携し、子どもの育ちと学びの把握に努め、支援体制を共に進めます。
	生活習慣の育成	① 家庭と連携して早寝・早起き・朝ごはんを生活習慣とるように働きかけます。 ② 外遊びを奨励し、持久走や縄跳びなどの一定時間運動を続ける活動に取り組むことで、体力の向上を図ります。 ③ 健康教育の充実や食育の推進を図ります。 ④ 浜田小学校をきれいにしていきます。また、栽培活動などを通して、学校の環境にうるおいが感じられるようにします。 ⑤ ルールを守り、マナーを身に付けていきます。
安全で安心できる学校づくり	子ども・保護者の困り感に寄り添う	① 困っていること(困り感)を出してくれた時、まず教職員がその困り感に寄り添い、解決に向けて一緒に考え、取り組んでいきます。 ② スクールカウンセラーや教育委員会、医療機関・関係機関との相談体制を確立し、子ども・保護者の悩みに対応していきます。
	教職員にとっても働きやすい学校	① 勤務時間内に効率的な働き方ができるように、校務支援システムの活用、授業づくりの共有化、業務アシスタントの活用をより一層進めます。 ② 働き方改革への取り組みを学校運営協議会の中でも議論し、コミュニティースクールの組織から保護者・地域へ発信していきます。
	安全に対する意識の向上	① 専門的な知識・技能を持った外部の人材を積極的に活用し、防犯に対する教職員のスキルアップを図り、教職員の危機管理意識の向上に努めます。 ② 学校の施設設備の改善に努めます。 ③ 災害・事故発生時には、迅速かつ組織的な対応ができる体制を整備し、的確な情報収集と役割分担で組織的に対応します。 ④ 様々な想定を考え、明確な目的意識を持った避難訓練を実施し、保護者・地域の協力体制を確立していきます。
地域の方に学ぶ	地域の教育力の活用	① 生活科や総合学習で地域学習を積極的に取り入れ、事実から学ぶ事の大切さを取り入れた授業づくりと、学校運営協議会(コミュニティースクール)が中心となって作られた部会の応援を受ける授業づくりに、全学年で取り組みます。 ② 保護者・地域の方の学校教育への参画を進めます。(学校公開日、学級懇談会、講演会、ボランティア活動など)